

## 三雲駅周辺整備事業について



議会改革ネットワーク ● 矢野 進次 議員

**問** 長年の懸案事項でありました三雲駅舎が4月8日に供用開始されました。ご協力頂いた関係の皆様へ感謝を申しあげます。今後の計画について伺います。



手つかずの三雲駅市有地

**答** 駅前のJR用地の買受けと南北駅前広場のロータリー整備、北側に観光案内板の設置、旧東海道沿線区間のカラー舗装、田仁川沿いに遊歩道整備、公園緑地帯などの計画をしています。市有地の活用は民間活力を活かした土地利用を検討します。

**問** 交通政策について、市道三雲煙線の改良について、道路整備計画にお

いて短期整備路線に位置づけられています。三雲駅周辺整備と調整しながら検討します。JR三雲踏切の交通安全対策は、県道がJR草津線を高架で超える計画が示され、説明会も実施されましたが、地元地権者の承諾が得られず中断しています。市道南部中央線の夏見以東の延伸について、現在計画はありません。防犯灯は今年度中に一部設置する予定です。

**答** 国道1号新岩根交差点から北側の農道拡幅は長期計画にあります。岩根地先と幹線を繋ぐ南北軸の必要性については認識しています。



## 家から目的地まで送迎する デマンド交通を!

誠心会 ● 上野 顕介 議員

**問** 現在のコミュニティバスは、当然バス停から歩かないといけない。重い買い物袋をさげて、歩くのは高齢者には大変だし、バスなので、目的地までは迂回してかなり時間がかかることや運行する本数や乗り継ぎがあつた場合の待ち時間について市民の不満が多くあり、今後の高齢化社会で車に乗れない方が急激に増加する中で、何らかの対策を早急にとらねばならない。その解決策として以前から議会で質問がある通り、家から目的地まで送迎する予約型のタクシーなど、デマンド(予約)型交通を取り入れるべきだが、バス事業者やタクシ事業者もある中で、市としては今後どのようにデマンド型交通を含む公共交通に取り組んでいくつもりか。

**答** 現在のコミュニティバスは、他に、細かな地域の支線については、まちづくり協議会が主体となる形でのデマンド型交通で運行してもらえよう、市としてもまちづくり協議会を積極的に支援したいです。

また、コミュニティバスや民間路線バス、タクシ会社等から成り立つ市内の公共交通は、それぞれの役割分担のもと、補い合つて市内の交通ネットワークを構築しており、そこにデマンド型交通を含めた公共交通の運行方針を今年度中に決定したいです。



コミュニティバス「めぐくん」